

下関JC

[山口]

「創始の精神に立ち返れ 青春とは意気と熱」

近代日本の夜明けをもたらした維新回天義拳の地である下関市は、本州の最西端に位置し、人口約30万人、山口県下最大の市であり、中核市として関門海峡を一望する悠久の歴史に育まれた港町であります。

源氏と平家の最後の合戦となった壇の浦の戦い、尊皇討幕の魁となって成しえた明治維新、日清戦争における下関条約など、常に時代の転換期に重要な役割を果たしてきました。

三方を海に囲まれた土地柄は水産業が盛んであり、古くは捕鯨が主でしたが、現在はフク、アンコウの水揚げが日本一として、まちにおける産業の中心を担っています。

下関

JCは、1953年に認証番号41番のLOMとして設立され、創立53年目の本年は、川村仁誠理事長のもと「祖国伝承」をスローガンに掲げ、維新発祥の地である下関から、「美しき日本の魂」復活に向けて運動を展開中です。

私たち下関JCシニアクラブは、現在約400名の会員を有し、会員相互の親睦を図るとともに、現役メンバーのJC運動の支援を目的として活動しています。

また、メンバーには江島潔下関市長や県市議会議員、林孝介商工会議所会頭をはじめ、多くのメンバーが政財界でまちの発展のために尽力されてい

ます。活動としましては、総会や役員会、現役メンバーの新年例会、創立記念例会、忘年会・卒業式、「じやがいもクラブ」の活動を通じて、現役メンバーとの交流を図っています。

昨今、JCの存在意義や現役メンバーの減少が問題となっておりますが、利那主義が横行する今のような時代だからこそ、創始の精神に立ち返り「日本はそのままではいけない」という志を持った若者の集団「青年会議所」を引き継ぎ、創り上げてほしいと願います。そして、私たちが「青春とは意気であり熱であり、再び顧みる時の微笑みでもある」と心から感じることの出来た



歴代理事長会議

馬関祭りOB激励



新年会



式典江島市長(OB)とOB

日本JCシニア・クラブ
山口ブロック担当幹事 尾中信仁

JCにおいて大和魂の発露を促し懐慨(がひげん)の心気をふり絞(ひね)って、あとに続く者たちへ引き継いでほしいものです。